

SONY

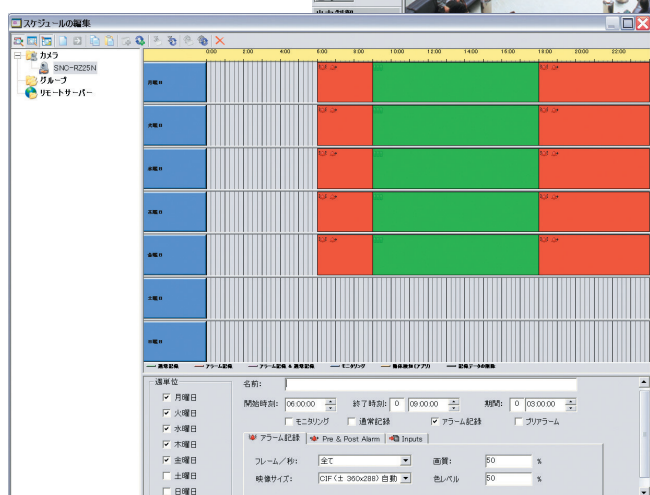
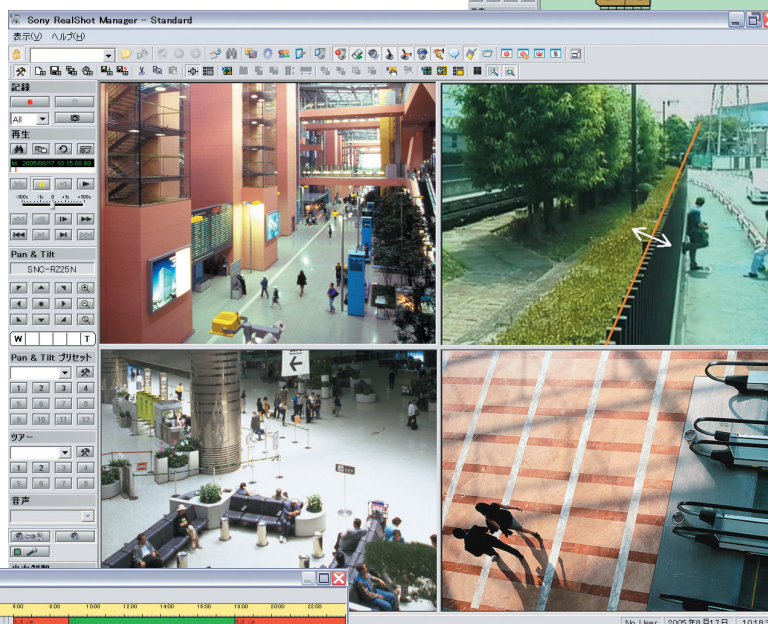
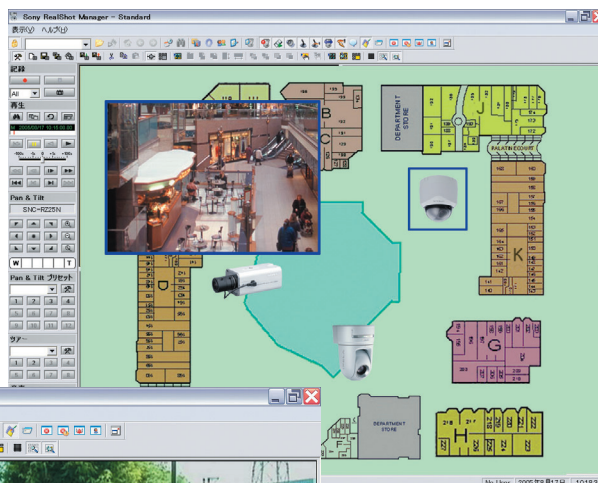
RealShot Manager

多地点モニタリングソフトウェア

IMZ-RS404/IMZ-RS409

IMZ-RS416/IMZ-RS432

ネットワークカメラと組み合わせ、
複数カメラ映像の同時表示や映像記録を
実現する多地点モニタリングソフトウェア
「RealShot Manager」



IPELA

www.sony.co.jp/SNC

●本カタログに掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

RealShot Managerとは

RealShot Managerはネットワークカメラの映像を複数同時表示したり、映像の記録や再生を行うための専用ソフトウェアです。最大32台までのネットワークカメラを1台のPCで管理でき、カメラ映像の表示／記録／再生が可能のほか、モニター画面のレイアウトを自由に作成できるレイアウトエディターや動体検知機能など、多彩な機能を持っています。

RealShot Manager Ver. 4の新機能

画像処理を用いた高度なアラーム検知・検索機能

◆DEPA (ディーパ)によるアラーム検知・検索機能

カメラとRealShot Managerで分散処理を行うことにより高度な画像処理機能を実現する新技術DEPAを採用。単に動体を検知するだけでなく、画面上に設定したライン上を人や車が右から左へ移動した場合にアラームを発生するなど、より高度なアラーム検知が可能になりました。

また、あらかじめ映像データとともにメタデータ*を記録しておけば、記録済みの映像データに対し条件検出フィルターを適用し、検索処理を行うことも可能です。

本機能を利用することにより、監視時におけるオペレーターの負荷軽減や映像検索の効率化が実現できます。

*メタデータ:カメラの動体／不動体検知機能を用い映像データから生成された付加情報。カメラ名や時間情報、検知されたオブジェクトの位置、大きさなどの情報を持ちます。DEPAによるアラーム検知・検索機能では受信したメタデータの情報をもとにアラーム検知や検索を行います。詳細は下記DEPAの概念図を参照ください。

※検知・検索の精度は撮影する被写体や天候、背景の状況などによって変動します。
事前に実際の現場環境で精度の確認をされることをお勧めします。

DEPA対応 ネットワークカメラ

DEPAによるアラーム検知・検索機能は、下記ネットワークカメラをご使用いただいた場合にのみご利用できます。

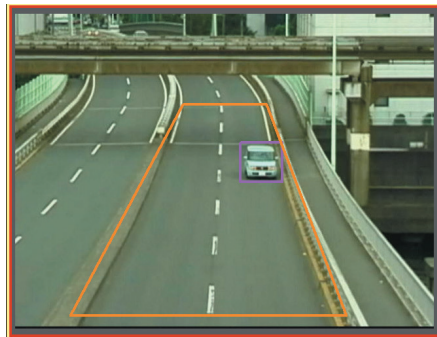
SNC-RX570N SNC-RX550N
SNC-RX530N SNC-RZ50N
SNC-CS50N SNC-DF80N
SNC-DF50N

※ RealShot ManagerのSNC-RX570N / RX530N対応版は2008年春を予定しています。
※ 最新版のファームウェアをお使いください。
(ネットワークカメラのファームウェアは弊社ホームページよりダウンロードできます。)

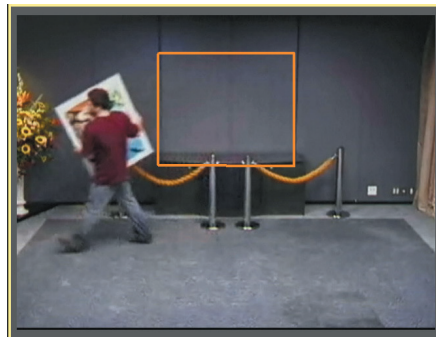
画像処理を用いたアラーム検知の利用例



侵入禁止領域への侵入検知

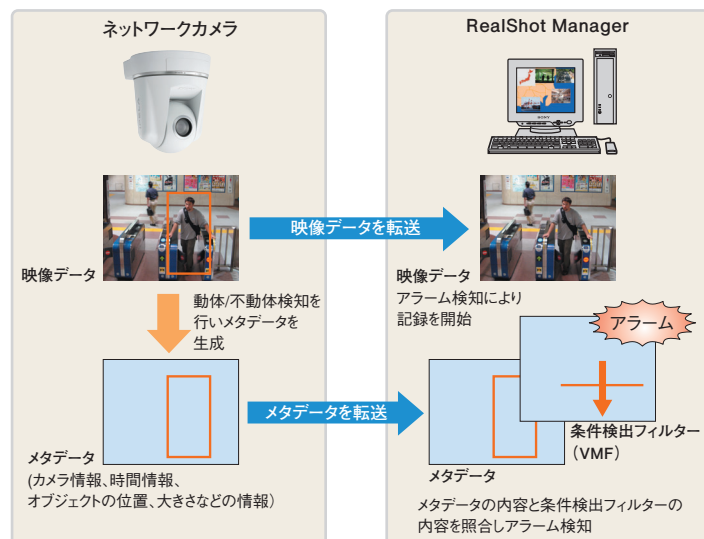


放置車両の検知



盗難検知

<ご注意>本機能は監視時におけるオペレーターの負荷軽減や、映像検索時の効率化を目的とした機能であり、100%の検知精度を保証するものではありません。また、本製品の利用にあたっては、検知・記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

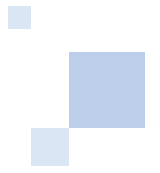


DEPAの概念図

DEPA (ディーパ): Distributed Enhanced Processing Architectureとは



従来の画像処理システムでは、カメラは映像を送信するだけで、画像処理の全てを専用のソフトウェアまたは画像処理装置で行っていました。これに対しDEPAではカメラとRealShot Managerの間で協調して分散処理を行います。カメラ側では映像データと同時にカメラ情報、時間情報および大きさや位置などのオブジェクト情報のメタデータを生成、映像データとともにRealShot Managerに送信します。RealShot Managerでは受け取ったメタデータ情報をVMF (Video Motion Filter) と呼ばれる条件検出フィルターと照合し、あらかじめVMFで設定した条件と合致した場合にアラームを発生します。分散処理方式を採用していますので、従来型の画像処理システムに比べシンプルかつ拡張性に富んだシステム構成が可能です。



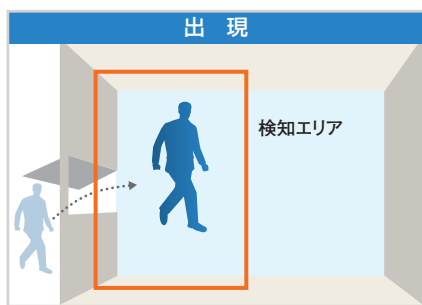
◆6種類の条件検出フィルターを用意

アラーム検出条件を設定する条件検出フィルターは動体検知用フィルター5種類、不動体検知用フィルター1種類の計6種類を用意。複数のフィルターを組み合わせることでアラーム検出条件を

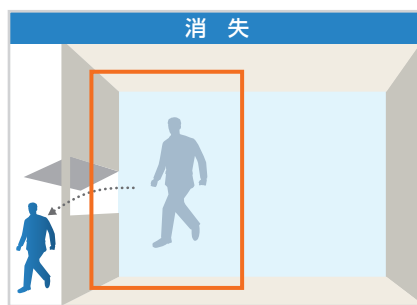
設定することも可能で、最大3つまでフィルターを組み合わせることができます。

※動体検知用フィルターと不動体検知用フィルターを組み合わせることでアラーム検出条件を設定することはできません。

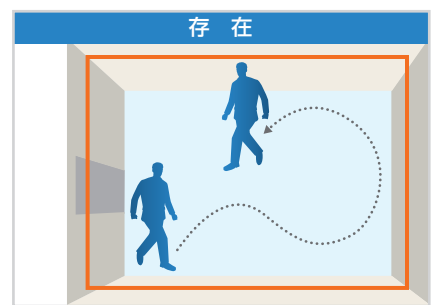
動体検知用フィルター



アラーム検出条件*に合致する人や物体が検知エリア内に出現したことを検知します。(エリア内でいったん人や物体が停止し、動体検知が外れた場合、再度動き出した際に出現として検知される場合があります。)



アラーム検出条件*に合致する人や物体が検知エリアから消失したことを検知します。(エリア内でいったん人や物体が停止し、動体検知が外れた場合、消失として検知される場合があります。)



検知エリアにおいてアラーム検出条件*に合致する人や物体が指定時間動き続けた場合に検知します。(いったん物体が停止し、動体検知が外れた場合はリセットされます。)



検知エリアにおいてアラーム検出条件*に合致する人や物体の数が指定数を越えた場合に検知します。このとき、人や物体は動き続けている必要があります。(いったん物体が停止し、動体検知が外れた場合はリセットされます。)

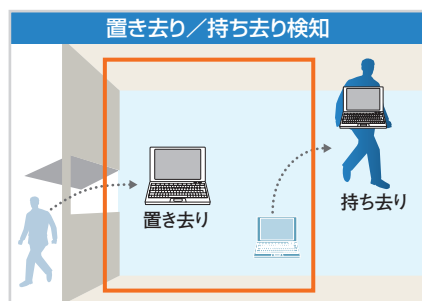


アラーム検出条件*に合致する人や物体が画面内に設定されたラインを指定方向に通過した場合に検知します。

*アラーム検出条件として設定可能な項目

- ・ 検知する物体の最大/最小サイズ
- ・ 検知する物体の速度(通過、出現、消失の場合)
- ・ 検知する物体が通過する方向(通過の場合)
- ・ 検知する物体の検知時間(存在、置き去り/持ち去り検知の場合)
- ・ 検知する物体の数量カウント(数量の場合)

不動体検知用フィルター



置き去り検知: 検知エリアにおいてアラーム検出条件*に合致する物体が一定時間同じ場所に留まっている場合に検知します。

持ち去り検知: 検知エリアからアラーム検出条件*に合致する物体が持ち去られて一定時間以上経過した場合に検知します。

RealShot Managerの主な特長 (Ver. 4)

モニタリング機能

◆JPEG/MPEG-4に対応

RealShot ManagerはJPEGおよびMPEG-4の2つの映像圧縮方式に対応。より高画質な映像が必要な場合にはJPEGを、十分なネットワーク帯域の確保が難しい場合にはMPEG-4を選択するなど、用途や環境に応じて映像圧縮方式を選択することができます。また、画像サイズや画像品質、フレームレートなどを変更することも可能です。

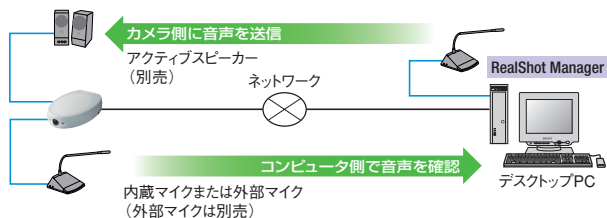
※ ネットワークカメラがJPEG方式のみ対応の場合、MPEG-4方式は選択できません。また、1台のネットワークカメラからJPEG方式とMPEG-4方式による映像を同時に取得することはできません。

※ 映像の表示能力・記録能力はRealShot ManagerがインストールされているPCの性能に依存します。

◆音声による双方向通信が可能*

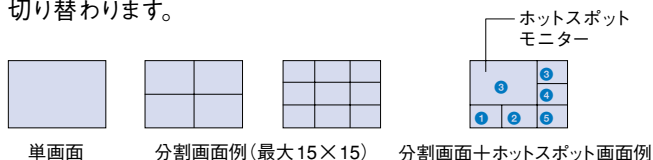
RealShot Managerは音声通信にも対応していますので、マイクが集音したカメラ周辺の音声をモニタリングしたり記録することができます。また、PCに接続されたマイクを音声入力源とし、カメラの音声出力端子に接続されたスピーカー(別売)を通じて音声を出力することもできます。

* ネットワークカメラが音声通信に対応している場合のみ。



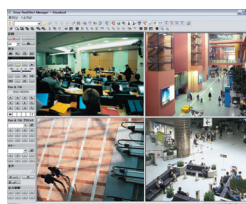
◆さまざまな画面レイアウトが可能

単画面のほか、最大15×15までの分割画面を簡単に設定することができます。選択したカメラを拡大表示するホットスポットモニターを分割画面に組み合わせることも可能です。また、ひとつのカメラウィンドウに対し1台のカメラを割り当てるだけでなく、複数のカメラを割り当てることも可能で、その場合あらかじめ各カメラごとに設定した表示時間によって順次表示が切り替わります。

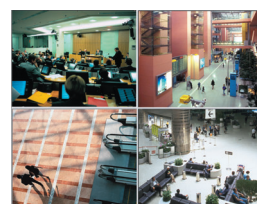


◆フルスクリーン表示

通常は各ツールバーが表示された状態で使用しますが、**[shift]+[Enter]**キーの操作によりフルスクリーン表示に切り換えることもできます。



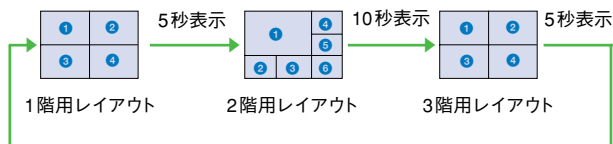
通常表示



フルスクリーン表示

◆レイアウトの自動切換

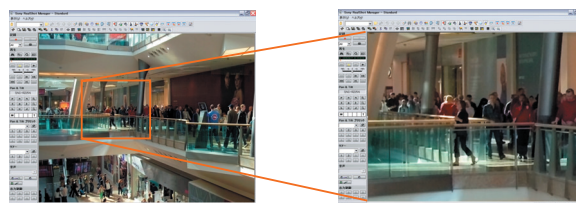
あらかじめ複数のレイアウトを登録しておき、表示を自動的に切り換えることができます。各レイアウトの表示時間は個別に設定することが可能です。



レイアウト自動切換の使用例：1階にカメラ4台、2階にカメラ6台、3階にカメラ4台が設置されている場合。各階ごとにレイアウトを作成し、これを自動切換で使用。

◆カメラのパン・チルト・ズーム操作が可能

RealShot Managerからネットワークカメラに対し、パン(水平方向)・チルト(垂直方向)およびズーム操作を行うことができます。これらの操作は、「Pan&Tilt ツールバー」からの操作のほか、ダイレクトPTZと呼ばれる直感的な操作によって行うこともできます。(カメラがパン・チルト・ズームに対応している場合のみ) また、カメラごとに複数のプリセットポジションを登録でき、「プリセットツールバー」のボタン操作で迅速なポジション移動が可能です。さらに指定した時間で順次プリセットポジションの移動を行うツアー機能も備えています。



ダイレクトPTZによる操作：
[Ctrl]キーを押しながら画面内の見たい範囲をマウスでドラッグするとその部分が表示されます。

記録・再生機能

◆用途に応じて選択できる3つの記録モード

次の3つの方法で映像の記録が可能です。音声の設定されている場合は音声も同時に記録されます。

マニュアル記録:画面上の「記録ツールバー」を直接操作することによって映像を記録します。

スケジュール記録:あらかじめカメラごとに設定したスケジュールに基づいて記録を行います。スケジュール設定画面から、曜日ごとにスケジュールの設定ができ、各スケジュールごとに記録レートや画像サイズ、画質の設定ができます。アラーム記録との併用も可能で*、アラーム記録時には通常記録とは異なる記録レート、画像サイズ、画質を設定することができます。

また、一定期間が経過したファイルを削除できる「Clean Up Job」と呼ばれる自動消去設定をすることもできます。

*アラーム記録と併用した場合、アラーム記録実行時における記録設定は、通常記録設定、アラーム記録設定のいずれか最大値が適用されます。

アラーム記録:RealShot Managerの動体検知機能またはネットワークカメラのアラーム入力をトリガーにして映像の記録を行います。

アラーム記録実行時に、その前後も記録を行うプリアラーム記録・ポストアラーム記録が可能です。アラーム記録中とプリアラーム記録・ポストアラーム記録中の記録レートを異なる設定にすることもできます。

◆アラーム検索機能

アラーム記録の検索・再生機能が強化されました。モニタリング画面上のアラームログ画面に表示されたログを直接クリックすることで、モニタリング画面上でアラーム記録データを表示させることができます*。また、記録データ検索画面において、どのようなアラームによって記録されたかを条件指定できます。これにより、センサーに連動して記録された映像と動体検知の結果記録された映像を別々に検索を行うことが可能になります。

*ローカルPCでの機能です。コントローラーからは利用できません。

◆複数カメラの同時再生に対応

複数のカメラを選んで同時に再生することができます。

◆便利な検索・再生機能

映像の再生に便利な検索機能を搭載しています。記録データはタイムライン形式またはリスト形式によって表示されます。このとき、タイムスケールを最大1年間、最小1分まで変更することができますので、絞り込んで検索をすることが可能です。

検索したデータはサムネイル表示され、通常再生のほかにもスロー再生や早送りなどの特殊再生をすることが可能です。また、検索画面中での再生のほか、モニタリング画面のカメラウィンドウ内で再生を行うこともできます。

タイムライン表示

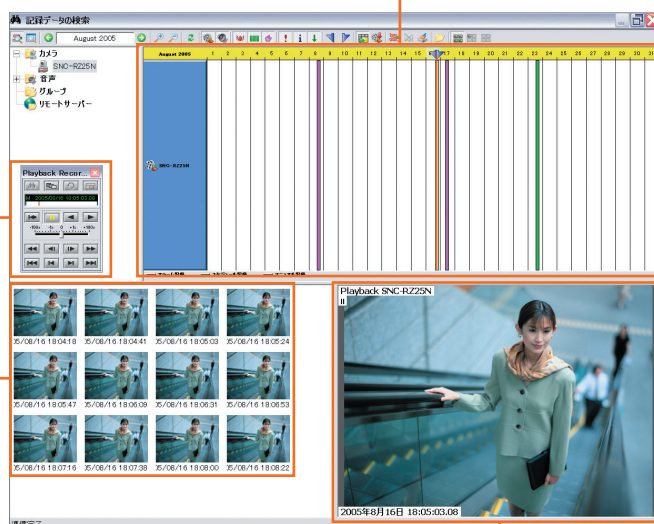
タイムライン上に記録データが色分けされて表示されます。タイムスケールの変更ができます。(最大1年間、最小1分)

再生ツールバー

選択した記録データの正逆可変再生を制御します。

サムネイル表示

選択した記録データのサムネイルが表示されます。



再生ウィンドウ

再生映像が表示されます。

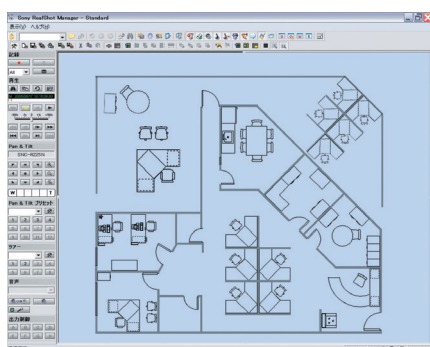
検索・再生画面

レイアウト作成機能

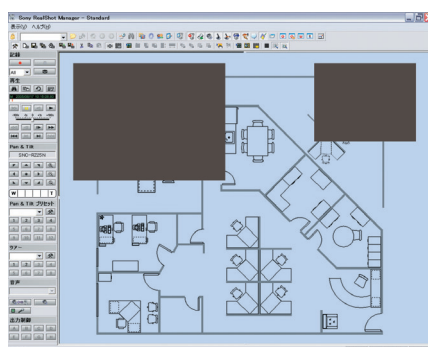
◆地図や見取り図を使ったオリジナルレイアウトの作成が可能

レイアウトエディターを使用して簡単にオリジナルの画面レイアウトを作成することができます。地図や見取り図などの背景上の任意の場所にカメラウィンドウを設定することができます。

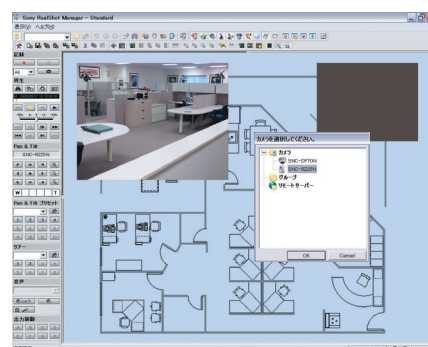
オリジナルレイアウトの作成手順



1. レイアウトエディターを起動し、背景に画像を貼り付けます。背景にはJPEGまたはビットマップ形式の画像を使用できます。



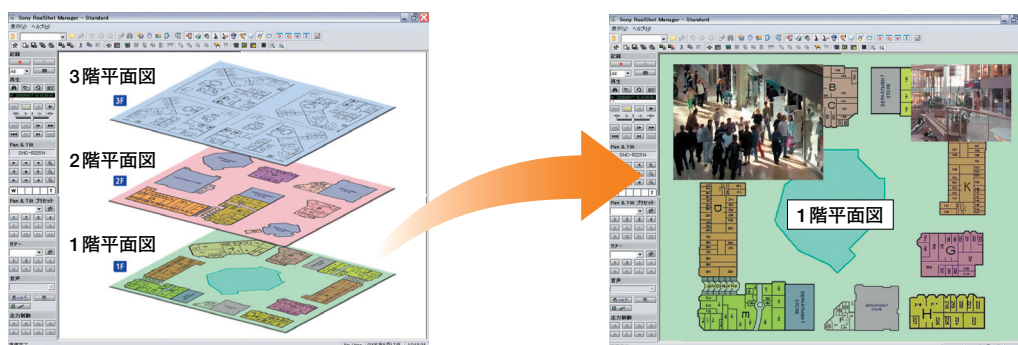
2. マウスをドラッグし、任意の場所にカメラウィンドウを作成します。ウィンドウの大きさも自由に指定できます。



3. レイアウトエディターを終了し、カメラウィンドウに対し、あらかじめ登録しておいたカメラを割り付ければ作成完了です。

◆複数レイアウトの組み合わせが可能

レイアウト上に配置した画像やカメラウィンドウを選択した場合に、別なレイアウトを表示させたり、特定カメラの映像を表示させることができます。この機能を利用することによって、例えば建物の立面図を表示しておき、その1階部分をクリックすると1階の平面図を背景にしたカメラレイアウトを表示するといったことが可能です。



利用例：

立面図の各階部分に各階平面図への移動を設定。

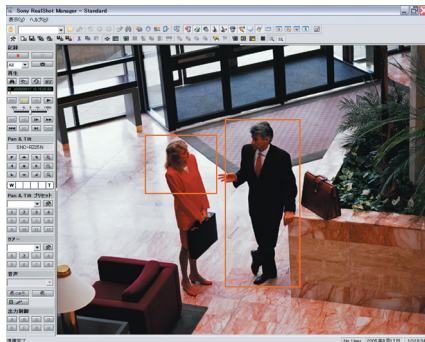
立面図の該当部分を選択するとその階の平面図に移行しモニタリングできる。

その他の機能

◆侵入者などの検知に便利な動体検知機能

ソフトウェアによる動体検知機能を搭載し、人や車など、画面内の動体を検知することが可能です。新規アルゴリズムの採用により、従来に比べより高精度な検知を実現。木の葉の細かい揺れや水面のさざなみなど、動体検知が誤動作を起こしやすい環境でのアラーム運用精度が大幅に向上します。また、動体検知機能は各カメラごとに設定可能なほか、動体検知の設定を時間ごとに切り換えることもできますので、夜間用の設定と昼間用の設定を自動で切り換えるなど、さまざまな運用が可能です。

※ 動体検知機能を使用した場合、記録やモニタリングの性能が低下する場合があります。



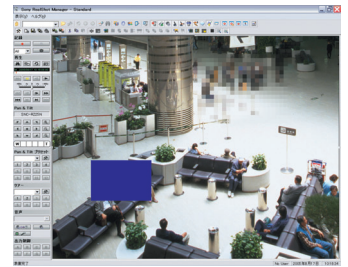
画面例

◆プライバシー保護などに適したダイナミックマスキング機能

画面内の特定部分を塗りつぶしやモザイク処理などで覆い隠し、マスキングすることができます。複数の場所をマスキングすることができ、パン・チルト・ズームなどのカメラ動作にも追従*します。また、マスキングは記録データにも反映されます。特定の場所を見せたくない場合や、プライバシー保護などに適しています。

* パン・チルト・ズームを行った場合に若干ずれを生じる場合があります。

※ ダイナミックマスキング機能を使用した場合、記録やモニタリングの性能が低下する場合があります。



画面例

◆記録データの外部取り出し

記録データを外部に取り出したい場合には、AVI形式で取り出すことができます。

※ 映像のみ取り出しが可能です。取り出したAVIファイルには音声は含まれません。

◆アラーム発生時の電子メールによる通知

アラーム発生時にあらかじめ設定したシステム管理者に対し画像添付された電子メールで通知することができます。

RealShot Managerの商品構成 (Ver. 4)

RealShot Managerは本体(カメラ登録ライセンス)とコントローラーによって構成されます。

本体(カメラ登録ライセンス)

IMZ-RS404

4台対応ライセンス
希望小売価格189,000円
(税抜価格180,000円)

IMZ-RS409

9台対応ライセンス
希望小売価格357,000円
(税抜価格340,000円)

IMZ-RS416

16台対応ライセンス
希望小売価格451,500円
(税抜価格430,000円)

IMZ-RS432

32台対応ライセンス
希望小売価格672,000円
(税抜価格640,000円)

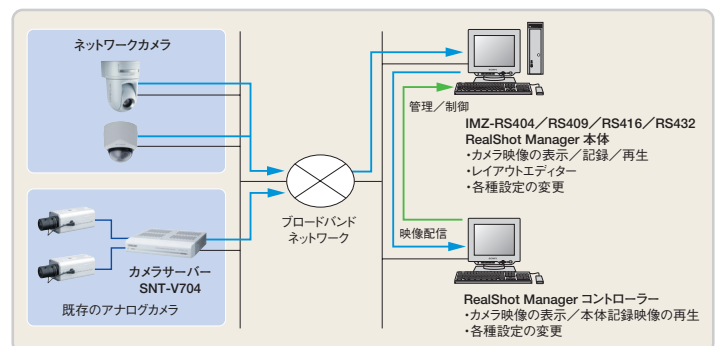
RealShot Managerの本体です。カメラ映像の表示/記録/再生が可能のほか、自由にカメラレイアウトを作成できるレイアウトエディターの機能を持ちます。また、コントローラーやビューアーへのカメラ映像の配信を行います。

接続するカメラの台数によって4種類の製品があります。

コントローラー(無償)

遠隔地や別端末からRealShot Manager本体の管理/制御を行うことができます。RealShot Managerが管理するカメラ映像の表示や、RealShot Manager本体に記録された映像の再生が可能のほか、RealShot Manager本体の各種設定を変更することもできます。

※ カメラ映像はネットワークカメラから直接ではなく、RealShot Manager本体を経由して取得します。



ソフトウェアダウンロードと試用版について

RealShot Managerは弊社ホームページよりダウンロードしていただくことができます。継続したご利用にはライセンス商品(IMZ-RSシリーズ)の購入が必要ですが、購入前でも使用日数や機能が制限された試用版または評価版としてご利用いただくことができます。なお、試用版/評価版としてご利用いただいた後にライセンス商品をご購入いただいた場合、ライセンスファイルをインストールしていただくだけで引き続き製品版としてご利用いただくことができます。

◆「30日間試用版」

30日間、全ての機能をご利用いただけます。

※30日経過後はこのモードは使用できなくなります。評価版としてご利用ください。

◆「評価版」

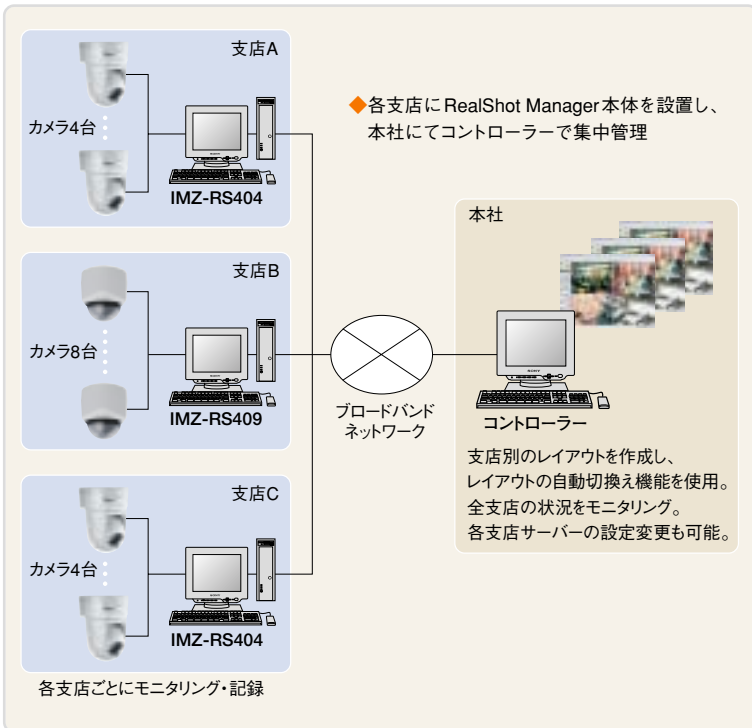
機能が限定されています。使用期間に制限はありません。

※使用できる機能の詳細はホームページを参照下さい。

RealShot Managerのダウンロードは下記へ

www.sony.co.jp/SNC

システム構成例(中規模システムにおける集中管理)



動作条件 (Ver. 4)

OS	Microsoft® Windows®2000 Professional / Server
	Microsoft® Windows®2003 Server ※x64 Editionには対応していません。
CPU	Microsoft® Windows® XP Professional ※x64 Editionには対応していません。
	Intel® Pentium®4 2.4GHz以上 ●デュアルコア・プロセッサ搭載のPCをご使用になる場合は、RealShot Manager Ver. 4.1以上*をご利用ください。 * Ver. 4.0以下のRealShot Managerはデュアルコア・プロセッサには対応していません。
メモリー	512MB
ビデオカード	1024×768(16ビットカラー)以上
ネットワークインターフェース	100BASE-TX以上

主な仕様 (Ver. 4)

	本体	コントローラー
映像圧縮方式	JPEG / MPEG-4	
音声圧縮方式	G711 / G726	
最大カメラ接続台数 (本体1台あたり)	32台*1	—
本体1台へのコントローラー 最大接続数	10*2	—
最大レイアウト数	255	255
最大ユーザー数	255	255
コントローラー1台に接続できる 本体の最大接続数	—	64

*1 推奨値。1台のPCに複数のライセンスをインストールすることにより、32台以上のカメラを接続することも可能ですが、性能面から1台のPCでは32台以下の運用を推奨しています。表示・記録性能はPCの性能に依存しますが、カメラ台数が増えると低下します。

*2 推奨値。コントローラーを10台以上接続することも可能ですが、性能面から10台以下の運用を推奨しています。接続端末数が増えると性能は低下します。



安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

商品使用上の注意 ●IMZ-RS404 / RS409 / RS416 / RS432の不具合など何らかの原因で記録ができなかった場合、また、記録内容が破損、消滅した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いません。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製等はいたしません。あらかじめご了承ください。●ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。●ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。

カタログ上の注意 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。●画面は全てハメコミ合成です。●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります。●「IPELA」および「IPELA」は、ソニー株式会社の商標です。●DEPAは、ソニー株式会社の商標です。●Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。●Intel、インテル、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。●その他、本カタログに記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

ソニービジネスソリューション サイト

sonybsc.com

本カタログは再生紙および環境に配慮した大豆インキを使用

※特定市場向け商品などソニービジネスソリューションサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

掲載の業務用商品およびソリューションに関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHSの一部のIP電話からは 0466-31-2588

●FAX 0120-333-389

●受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)